【興味・関心チェックシート】

 　**≪興味・関心チェックシートの聞き取り方≫**

 このシートを活用することで，漠然とした本人が望む作業について，的を絞るこ とができることがあります。ADL や IADL について基本項目として聞き取るよう にしてみましょう。サービス利用時には既に記載されている場合もありますが， 記載されていない場合は次のとおり聞き取りましょう。

 **≪シートの記入方法≫**

①各項目ごとに，現在している生活行為にはその頻度に関係なく「している」の 欄に○を記入。

②「していない」項目については，それを「してみたい」か本人の意向を聞く。してみたいものには「してみたい」の欄に○を記入。

③興味の有無を確認。している，していない，してみたい，できる，できないに 関係なく，興味がある場合は「興味がある」の欄に○を記入。

④いずれにも該当しない場合は｢している｣の欄に×。

⑤シートには空欄があり，各地域特有の生活行為や趣味活動など，使用する場合に応じて追記する。

**≪チェックがあった項目について≫**

1. いつ・どこで・誰と・どんなふうに・どの程 度 「しているのか」「してみたい」のかを確認する。 「興味がある」と回答のあった項目については，どのように興味があるのか，どのような条件であれば実施するのか確認するし、空欄に記載する。
2. 答えのあった項目をもとに，生活の目標を本人とともに決定する。 対象者の中には，「したいと思っていることがない」といった回答をする方もいます。また，具体的にしたいことが思い浮かばず「今のままでいいです。」と言う方もいます。

 この興味・関心チェックシートのように，具体的な生活行為を提示することで， したいことをイメージしやすくなることもあります。 「そういえば，こんなことをしたいと思っていた，昔こんなことをやっていた，今 もできるだろうか。」といった「したい・やってみたい・挑戦したい」と思えるよう な，具体的な作業の発見の手助けになるように使ってみましょう